
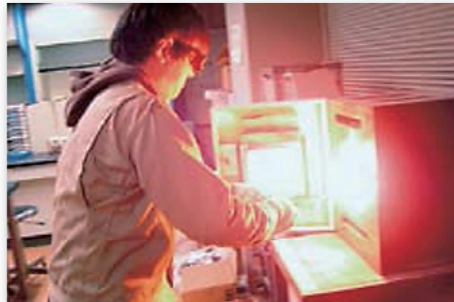




所属	物質工学科	氏名	小出 学 <i>KOIDE, Manabu</i>	
分野等	無機工業化学研究室	職名	准教授	
学位	博士（工学）	e-mail/URL	http://www.nagaoka-ct.ac.jp/mb/index.files/page0016.htm	
キーワード	新規低融点ガラス、新規ガラス製造法、透明導電膜用ターゲット			
研究分野	焼結法を用いた新規機能性ガラスの開発 3次元ネットワークフォーマーを含まない新規ガラスの開発			
特別設備	自作電気炉（1400度常用）2台 モトヤマ製 スーパーバーン（1600度常用） 固体密度および充填率測定装置（エアンドデー社） 物質工学科所有 熱分析装置 島津TG-DTA、TMA 等			電気炉から坩堝を取り出しているところ 
技術PR	新規機能性ガラスの開発、ターゲット材の物性評価 様々な電気炉を有しており、ガラス作製からセラミックスの焼結まで幅広く対応することが可能です。 物質工学科所有の熱分析装置を利用して、ガラスの性質評価から、新規機能性を有するガラスの開発まで行うことが可能です。			るつぼからの融液のキャスト 
企業に向けて	環境問題への考慮の観点から、脱鉛化が大きな目標とされています。しかしながら、低融点ガラス（電子部品の接着剤）など多くの分野で鉛が使われています。そこで、鉛を含まない低融点ガラスの開発を行っています。さらに新規機能性ガラスについて研究を行っています。			ライターの炎で軟化するガラス